

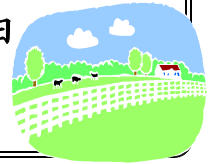
学校だより

やさしく  
かしこく  
たくましく

みどり市立笠懸小学校

令和2年 2月18日

第20号



## 学校評価の結果について

学校評価実施に伴う保護者アンケートでは、お忙しい中、御協力いただきましてありがとうございました。中間評価を行った際にもお伝えしたとおり、学校評価は、学校としての自己評価を行うことで学校経営の改善につなげることが目的の一つです。中間評価の結果は学校だより第9号でお伝えしたとおりですが、今年度の自己評価の結果を以下の表に記載しました。4ページ目の最後にも記載しましたが、学校関係者評価の結果も踏まえ、順次、具体的な改善につながるよう取り組んでいきたいと思えます。

また、引き続き御家庭や地域の方々の協力が不可欠なこともありますので、今後とも子どもたちの健全育成に向け、御理解・御協力をお願いいたします。

### <表の見方>

- 【最上段】：評価対象
- 【〇印】：評価の趣旨（どのような視点で評価しているか）
- 【表右側の数値】：「評価の趣旨」と関連するアンケートの結果（肯定的意見の合計〔単位：％〕）  
※結果の概要をお伝えすることを趣旨としたため、関連する項目の平均値を示しているものもあります。また、教職員の数値は「指導しているか、努めているか」といった質問への回答となっているものもあります。
- 【自己評価】：A～Dの4段階で行っていますが、原則として表中の【〇〇：〇％以上】の数値が達成されているかどうかを基準として評価を行っています。
- 【最下段】：現状や今後の対応、御家庭への協力依頼事項等（保護者アンケートの自由記述欄に記載されていた意見等への回答が含まれているものもあります。）

「保護者との連携」について	保護者	児童	教職員	自己評価
○学校は各種通信やHP、電話連絡等で保護者への連絡をきめ細かく行い、学校や子供の様子がわかる。【保護者：80％以上】	96.3		92.1	A
○学校は保護者が懇談会への参加など、学校を理解したり協力したりしやすい環境をつくっている。【保護者：80％以上】	84.3		80.0	A

中間評価の結果でもお伝えしたとおり、学校では各種通信などで、必要な情報をタイムリーに発信できるよう心掛ける中「子どもと向き合う時間」や「教材研究の時間」の確保が現状でも継続的な課題です。しかし、保護者との連携は、学校運営を行う上でも重要な要素ですので、何にどれだけ時間を配分するかを考慮しながら、情報発信や情報共有の方法、子どもたちの学校での様子を見ていただく機会等の在り方等について協議し、対応可能などから順次改善していきたいと思えます。

「確かな学力」について	保護者	児童	教職員	自己評価
○学校の授業は分かる授業となっている。 【児童：85%以上】	88.9	94.2	94.7	A
○自ら進んで学習したり読書したりする習慣が身に付いている。 【児童：80%以上】	84.1	90.3	91.9	A
<p>平成29年に告示された学習指導要領は現在移行措置の期間ですが、来年度からは全面実施となります。例えば、5，6年生の外国語活動が「外国語科」として教科化されたり、プログラミング教育が導入されたりします。また、今年度、新たに採択された教科書を使用するようになるとともに、通知表にも記載されている「評価の観点」が来年度から全教科・領域等で整理され、全て3観点で評価していくことになるなど、大きな変革期となっています。本校でも、このような流れを受け、これからの時代に求められる学力について研修しながら、授業改善に取り組んでいます。中間評価の際にも記載したとおり、子どもたちが学校で過ごす時間の大半は授業ですので、子どもたちが自ら学んだことを自覚できるような授業となるよう、これからも不断の授業改善を行っていきたいと考えております。</p> <p>また、家庭学習については、現在、在り方の検討を始めたところです。子どもたち一人一人の発達段階、興味関心や、家庭の状況等もそれぞれですので、絶対的な方法はないと考えますが、変更していく場合は「実効性」を視点の一つとして重視していきたいと考えております。今後も、学力向上に向け、学校と家庭が更に連携していければと考えております。</p>				

「豊かな心」について	保護者	児童	教職員	自己評価
○進んで挨拶や返事ができる。 【保護者：90%以上】	83.2	89.0	95.2	B
○親切言動がとれる。 【保護者：90%以上】	95.5	93.4	97.5	A
○いじめのない温かい人間関係が育っている。 【いじめ解消率100%】	95.4	96.5	95.1	B
<p>挨拶や返事は、基本的な生活習慣の一つであり、自由記述欄にも比較的御意見が多く記載されている項目です。学校では、これまでもお伝えしてきたとおり、折に触れてその大切さなどを指導していますが、発達段階やその時の状況などにもよるため、全ての児童が常にしっかりした挨拶、返事ができているわけではないと捉えています。校長自らが毎朝校門に立つことなどは、多数の方から自由記述欄に肯定的な取組として記述していただきましたが、今後も、児童会が主体となった挨拶運動などを一層活性化させるなどして、他律的に挨拶させられるのではなく、子どもたち自身が挨拶や返事のもつ意味・価値について理解し、自ら進んで挨拶できるようにしていければと考えております。</p> <p>また、いじめに関することはもちろんのこと、温かい人間関係を構築する力も大変重要であると捉えております。取組としては、市で予算化された「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を実施・分析して、学級経営の改善に生かしたり、学校いじめ防止基本方針の内容を踏まえた対応になっているか、折に触れて立ち戻ってみたりするなど、よりよい人間関係の構築や、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を意識して取り組んでおります。引き続き、御家庭でもいじめは許されないことや親切言動などについて、機を捉えて伝えていただければと思います。</p>				

「健康・体力」について	保護者	児童	教職員	自己評価
○規則正しい生活リズムが身に付いている。	94.5	90.2	87.5	A

※朝食と睡眠の評価の平均として評価 【保護者：80%以上】				
○日常的に外遊び等の運動に取り組んでいる。【児童：80%以上】	76.5	79.8	82.1	B
○病気の予防と治療に努めている。 【保護者：100%】	91.7	91.7	95.0	B
○自分で決めた目標に向かって努力している。【児童：80%以上】		93.1	97.5	A
<p>科学技術の進歩などにより生活の利便性が加速度的に増すとともに、ネット環境の整備なども相まって、運動不足や視力低下といった、健康や体力に関する課題が話題となることが多くなっています。このような状況の中、本校も、各担任、栄養教諭、養護教諭、体育主任等が連携しながら、基本的な生活習慣の定着や、病気予防への意識高揚に努めていますが、健康や体力については、学校だけの取組では十分とは言えない側面がたくさんあります。学校でも、委員会活動の取組なども更に活性化させたいと考えておりますが、御家庭においても保護者が主体となって生活リズムを整える働き掛けをしたり、家庭全体の生活リズムを見直したりするなどして、健康・体力に関する課題を徐々に改善していければと考えております。</p> <p>また、外遊びに関する今回の児童アンケートの数値は前回より7.3%上昇し、改善傾向が見られましたが、一方で、校庭の混雑に起因するケガが発生しやすい状況もあります。学校では、安全確保に関する意識高揚を図りながら、運動は推奨する取組を行っています。運動に関することは本校の継続的な課題の一つであり、取組の工夫が必要な領域ですが、大規模校であるが故の物理的・時間的な制約との兼ね合いを考慮しながら、今後も健康増進・体力向上に努めていきたいと思っております。</p>				

「安全確保・施設設備」について	保護者	児童	教職員	自己評価
○避難訓練の実施など、児童の安全確保の取組を行っている。 【保護者：90%以上】	95.7	96.5	97.4	A
○交通ルールを守って、歩いたり自転車に乗ったりしている。 【児童：90%以上】	88.1	96.2	100	A
○登下校の安全について話し合ったり確認し合ったりしている 【保護者：90%以上】	97.4	70.7	100	A
<p>児童の安全確保は最優先に取り組むべき内容であり、これまでも計画に位置付けられたものばかりでなく、その時の状況を踏まえて臨機応変に策を講じてきました。今年度も、学期に1回ずつの避難訓練を行っていますが、3学期は抜き打ちで地震・火災の避難訓練を行いました。危機の種類には様々なものがあり、いつどこで発生するか予測できませんが、学校として、可能な限り事故等の未然防止に努めたいと思っております。また、これからも「自助」「共助」「公助」という言葉のとおり、関係機関や家庭、地域の方の協力を得ながら、重層的に児童の安全が確保されるよう配慮していきたいと思っております。</p> <p>施設については、校舎や体育館の老朽化やトイレの臭いに関して、御心配の声が聞かれますが、施設・設備に関しては、学校として対応できる範囲が限定されてしまう側面があります。これまでも市の担当部局に工事要望を挙げたり、校内での自助努力も行ったりしていますが、事故等が少しでも減るように今後も取り組んでいきたいと思っております。</p>				

「進路・生き方」について	保護者	児童	教職員	自己評価
○将来の夢や希望について話し合っている。 【目標80%以上】	87.4	75.0	85.7	A
<p>本項目については、一般的にどの学校もアンケート結果の数値が低くなる傾向が見られますが、御家庭の中で将来の夢や希望について改まって話し合うというのは、そう頻繁に見られる</p>				

光景ではないからかもしれません。しかし、「進路・生き方」について考えるということは、とても重要なことであり、県が策定している教育振興に関する計画でも一番始めに掲げられている内容です。中間評価の際にもお伝えしたとおり、学習指導要領が改訂され、特別活動（児童会、学活、委員会、クラブ、学校行事など）を核としてキャリア教育の充実を図っていくことが改めて示されました。学校では、今後ともより系統的なキャリア教育が行われるようにしていきたいと思います。御家庭でも、時には「なりたい自分」と「ありたい自分」について、話し合う機会を設けることも重要ではないかと思います。

## 保護者アンケート自由記述欄について

本校の学校評価は、上記の表にある内容が評価対象となっていますが、それ以外についても自由記述欄の内容を集約し、どのような取組が評価され、逆に御意見や御要望としてはどのようなものがあるのか全職員で共有し、参考にさせていただいております。しかし、実情として、自由記述の数も大変多く、内容も多岐にわたっています。

一端を紹介すると、学校の取組に対する肯定的な記述としては、「とても良心的だ」「人数が多い割にきちっとしている」「児童のよい行いなどがあった時に紹介してくれる」「校長が毎日校門のところで出迎えてくれてありがたい」「何かあったときの対応が迅速でありがたい」といったものがありました。

また、御意見や御要望の代表的なものは、大きな括りとして、「挨拶」「学習・宿題」「生徒指導」「授業参観」「学校からの情報発信」「安心・安全」「登校班」「施設・設備」「行事の日程」「携行品」「保健」「給食」等の在り方に関する記述がありました。学校では、これらの記述を学校の取組を改善するための貴重な御意見として捉えています。

また、今後も一つ一つの御意見、御要望、質問等に対して、学校として慎重に協議し、校内だけでなく家庭・地域や教育委員会等とも共通理解を図った上で情報発信していきたいと思います。

全ての記述に関して具体的な回答や改善策が提示できるわけではありませんが、実情を御理解・御賢察くださいますようお願いいたします。

なお、昼休みの歯磨きなどのように、改善できるところは随時改善していくとともに、検討結果については機を捉えて発信していきたいと考えておりますので、よろしくようお願いいたします。

## 学校関係者評価委員会を開催



令和2年2月6日（木）に、学校関係者評価委員会（構成員は学校評議員とPTA会長）を開催いたしました。上記の自己評価結果の妥当性などについて評価していただくとともに、各項目についての御意見なども頂戴しました。

学校関係者評価の結果もA～Dの4段階評価で行っていますが、全ての項目で自己評価の結果と同じ評価結果となりましたので、御報告いたします。

学校では、この学校評価及び学校関係者評価の結果を踏まえ、可能なところから学校運営を改善するとともに、様々な面で子どもたちが更に力を高めていけるようにしていきたいと思います。

今後とも、家庭・地域の方々のお力添えをいただく場面があると思いますが、よろしくようお願いいたします。